

花王の企業行動倫理

“よきモノづくり”を通して社会に貢献

当社は、“よきモノづくりを通して顧客の心をつつ満足をお届ける”という理念を「花王の使命」として掲げている。企業と社会との関わり合いには、様々な側面があるが、まず事業活動そのものが社会に役立つものであるということが重要であろう。すなわち、人々の日々の暮らしに役立つ製品やサービスを提供し、健全な利益をあげ、それを株主などに還元するとともに、納税という形より広く社会に還元するのである。さらに、資源や自然環境の保全や、環境に負荷の少ない製品の開発など、事業活動を通して企業が果たさなければならぬ社会的責任は大きい。

倫理に基づく行動と、法の遵守が基本

さて、広く社会の中での企業の行動というもの考えた場合、基本となるのは「倫理に基づく行動」と、「法の遵守」であろう。当然のことであるが、当社はこの基本に反してまで利益を追求するようなことはしないのである。さらに、私たち一人ひとりに、個人としての“人格”があるように、多くの人の集ま

りである企業にも“人格”があり、良識ある公正な行動により、誠実で清潔な、いわば“徳のある企業”として広く社会に支持されてはじめて、社会の一員として、真にその存在が認められると、当社は考える。

社員一人ひとりへの徹底が重要

また、企業活動とは、それを構成する社員一人ひとりの日々の仕事の集積にほかならない。したがって、“徳のある企業”であるためには、役員、社員の毎日の行動は、社会の規範やルールに適い、社会の要請に真摯に応えるものでなくてはならない。そこで、当社では先に社員一人ひとりに向けて「花王の一員としての行動」という小冊子を作成し、これを配布した。倫理上の過ちは、個人においても企業においてもしばしば取り返しのつかない疵を残す。無知や誤解により、そのような過ちをおかさないうために、個人の行動の規範を明文化し、その遵守を要請したのである。それに続き、1997年11月には、企業としての行動規範を定めた「花王の企業行動倫理」を策定した。さらに現在各部門において、それぞれの部門の日常業務に即した、部門ごとの行動規範を作成している。